

## 審査基準

「令和8年度埼玉県AIいちご品質向上モデル開発業務委託企画提案評価表」に基づき、各審査項目について評価し採点する。

令和8年度埼玉県AIいちご品質向上モデル開発業務委託企画提案評価表

審査項目	審査内容	配点
1 事業理解・基本方針	○本業務の目的、背景及び課題を十分に理解しているか ○県産いちご品種の品質のばらつき、高温課題、汎用化技術構築の必要性を踏まえた提案となっているか ○3年間の事業構想の中の1年目業務としての位置付けを適切に理解しているか	10
2 全体構想・業務設計	○3年間を見据えた全体構想が論理的であり、1年目の到達目標が明確か ○次年度以降への接続が現実的か ○単年度契約であることを踏まえた整理になっているか	15
3 データ設計・取得方針	○必要なデータ項目の考え方が妥当か ○生産者ほ場データ、試験研究データ、高温条件下データの位置付けが明確か ○データの取得、整理、品質確保及び継続運用の考え方に実現性があるか ○令和11年度の「埼玉県施設園芸データ共有システム」への実装も見据えたデータ設計となっているか	10
4 分析アプローチ・AI活用方針	○AI、統計解析その他の手法の活用方針が妥当か ○相関把握にとどまらず、汎用化技術につながる分析設計となっているか ○高温課題への対応を分析に適切に組み込んでいるか ○説明可能性、再現性、妥当性への配慮があるか	10
5 汎用化技術の体系化・成果整理	○分析結果を汎用化技術として整理する方法が明確か ○特定生産者の経験則にとどまらず、普及可能な形に整理できるか ○生産者及び普及指導員が活用しやすい成果整理の工夫があるか ○技術の底上げにつながる構成となっているか	10
6 将来実装への接続性	○「埼玉県施設園芸データ共有システム」への改善助言機能等の実装を見据えた考え方があるか ○「埼玉県施設園芸データ共有システム」へのを前提に適合しているか ○データ連携、機能構成、運用面の考え方に妥当性があるか	10
7 実施体制・業務遂行能力	○業務責任者及び従事者の専門性が適切か ○類似業務実績は十分か ○農業、データ分析、AI等の必要分野をカバーしているか ○県との協議、進捗管理に対応できる体制か	10
8 工程管理・リスク管理	○工程が現実的か ○課題発生時の対応方針が明確か ○情報管理、データ管理、関係者調整に配慮があるか	10
9 見積額・経費の妥当性	○令和8年度の見積額は妥当か ○令和9年度、10年度の試算額は、令和8年度の見積額から県が想定できる金額か ○積算根拠は明確か ○費用配分が提案内容と整合しているか	15
評価点数合計		100

※配分の範囲内で採点を行う。

## 採点・選考方法

- 各審査委員は、企画提案者ごとに、上記審査基準に基づき採点し、合計点が60点を超えるものに限りに、高いものから順位をつける。  
ただし、各審査項目の審査内容に記載の事項を満たさない場合は配点を0点（不合格）とし、かつ当該審査委員分の評価点数合計を0点とする。
- 審査後、農業政策課宛てに審査表を提出する。
- 農業政策課職員が、各委員の順位を点数化し、合計点数の高い企画提案者を委託候補者として選定する。
- 順位の点数化による合計点数が同点だった場合は、審査基準に基づく各委員の合計点が最も高い企画提案者を委託候補者として選定し、さらに同点の場合は、委員会の委員長が決定することとする。
- 企画提案書を提出した者が1者のときは、審査委員会が提案内容を総合的に審査し、本業務の委託先として適当であると認めた場合に、当該企画提案書等を提出した者を委託候補者として選定する。